



MENU

1. ご注意ください -バーコードについて-
2. 検体検査ってどうやってやるの? -交差適合試験編-
3. 採血時にグーパーしていませんか? ~カリウム値が上昇します~
4. 臨床からよくある問い合わせ

1. ご注意ください -バーコードについて-

検査部では、バーコードで受付をしています。
生理機能検査室（心電図、肺機能、脳波、腹部超音波、心エコー室）では、外来患者さんの場合、受付表・予約表・診察券のいずれかが必要になります。
入院患者さんは、リストバンドのバーコードで受付を実施します。
検体検査でも、採血管にバーコードが貼付されていないと、検査ができません。
なお、血液培養ボトルに関しては、もともと貼られているバーコードと重ならないように、バーコードシールを貼付してくださいませう、お願いします。



お問い合わせ：心電図検査室 内線36570

2. 検体検査ってどうやってやるの？ -交差適合試験編-

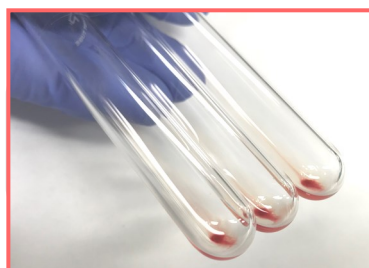
交差適合試験は、赤血球輸血開始前に行う最終確認検査です。

交差適合試験



輸血用血液製剤
(RBC)

緊急の場合を除いて、原則として患者さんのABO血液型と同じ型のRBCを用意します。



技師による検査

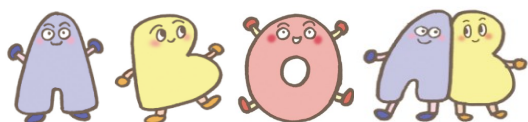
試験管内で患者さんの血漿とRBCの反応を確認します。



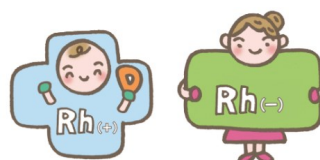
輸血の実施

適合と判定されたRBCを輸血します。

具体的に何を調べているの？



ABO血液型に対する抗体の確認



ABO以外の血液型に対する抗体の確認

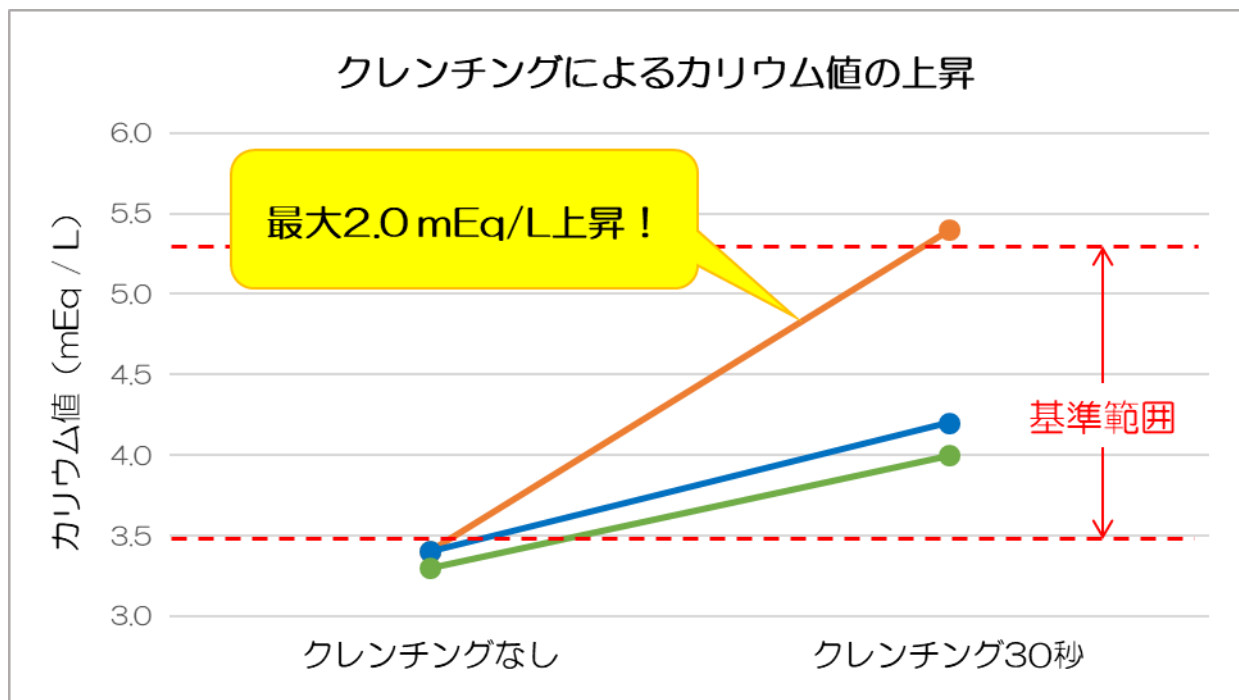
これらの確認をすることで、血液型不適合による重篤な溶血性副作用の発生を未然に防いでいます。しかし、完全な副作用の防止は難しいのが現状です。

お問い合わせ：輸血検査室 内線36410

3. 採血時にグーパーしていませんか？ ～カリウム値が上昇します～

血管が確認しにくい場合に、血管を怒張させる手技として駆血帯をした後のクレンチング（いわゆる、グーパー）が知られています。

しかし、採血時のクレンチングは、筋肉細胞内に含まれるカリウムの流出により偽高値を引き起こす場合があります。



体液・代謝管理 1998,14:42-45より一部改変

カリウム値の基準範囲 3.5~5.3 mEq/L

血管が見えない時の対処法

- ◆ 手首から肘の方に向けて前腕をマッサージする。
- ◆ 人差し指と中指で血管を数回軽く叩く。
- ◆ 一旦駆血帯を外し、40℃程度に温めた濡れタオル等で、穿刺部位付近を温める。



標準採血ガイドライン

お問い合わせ：生化学検査室 内線36430

4. 臨床からよくある問い合わせ

今回は細菌検査室で行っている各検査について、よくある質問をピックアップしました。解決できなかった方は下記までお問い合わせください。

Q 血液培養の採血量を教えてください

A ボトルにも記載がありますが、好気・嫌気ボトルは8～10mL、小児ボトルは0.5～5mL、抗酸菌ボトルは1～5mLの血液が必要です。採血量が少ない場合、菌が検出できなくなる可能性がありますので、可能な限り規定量の採血をお願い致します。

Q 細菌培養用のシードスワブ(培地付き綿棒)をもらえますか？

A 各診療科ごとに、ご用意して頂いております。

Q β -Dグルカンほどのくらい採血すれば検査可能ですか？

A 0.5～1.0mLの程度あれば検査可能ですが、可能な限り規定量の採血をお願い致します。

Q β -Dグルカンの追加検査はできますか？

A β -Dグルカンの検査は、専用採血管となっておりますので、別途採血をお願い致します。採血管は検査部に用意してあります。

～インフルエンザ流行の季節となりました～

電子カルテSMILE上の感染制御部のページより、「病院感染対策マニュアル」や「インフルエンザ対応に関するQ&A（よくある問い合わせなど）」が閲覧できますので、ご確認ください。

お問い合わせ：細菌検査室 内線 36450

広報委員：盛合亮介、古谷桃子、葺澤慎也、安井謙司、小林 亮、片山雄貴